

秋号

第138号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ <http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/>)

- | | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 小笠原交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

- 自動車安全運転センター山梨県事務所 社団法人・山梨県トラック協会 山梨県タクシー協会 社団法人・山梨県バス協会
 山梨県自動車販売店協会 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 社団法人・山梨県自動車整備振興会 山梨県軽自動車協会
 山梨県二輪車安全普及協会 山梨県自転車軽自動車商協同組合 社団法人・山梨県建設業協会



大型プラカードや旗で交通安全を訴えながらパレードする韭崎安協の会員ら—韭崎市内

ゆとりが生む 無事故無違反

秋の全国交通安全運動

9月21日から30日

秋の全国交通安全運動は、九月二十一日から九月三十日までの十日間、全国一斉に実施されます。

この運動は、秋の行楽シーズンを迎え、交通量が増加し、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人ひとりに交通安全思想の普及・浸透を図り交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を目的に行われます。

運動の重点は、①高齢者の交通事故防止②シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底③飲酒運転の絶滅の三点です。山梨県交通安全協会では、県、県警をはじめ関係機関・団体と協力して、地域に密着した、街頭指導や交通安全活動などを繰り返し、運転者、歩行者、特に高齢者に交通安全の大切さを呼びかけます。

交通安全カレンダー

- 9月21日～30日 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会
- 12月 年末の交通事故防止県民運動
- 平成14年
- 1月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 7月 二輪車安全運転山梨県大会
- 夏 夏の交通事故防止県民運動

内容紹介

- 2面 改正道交法の概要
- 3面 事故防止へ県民一丸
- 4、5面 各地区安協の活動

- 6面 二輪車全国大会で好成績
- 7、8面 協賛団体のイベントと交通安全活動

交 差 点

飲酒運転が危険なこととはだれでも知っているはずですが、それでも後を絶たないのにはなぜでしょうか。アルコールが人体に及ぼす影響を正しく認識していないことと心の甘えが大きく作用していると思われる。

▼ところで、科学警察研究所の調査(「人と車」三六巻一〇一頁)によれば、アルコールは穏やかな麻酔薬と言われ、血液とともに体内を循環して、脳の働きに必要な部位を順次まひさせるものであるとされています。

▼また、飲酒運転事故の推移を昭和六十一年の事故件数を一〇〇とした場合、平成十年には、酒酔い運転による事故は、約五分の一に減少、酒気帯び運転の事故はほぼ横ばい、検挙基準以下の事故は約二・六倍に増加しています。

さらに、飲酒後、他の交通機関を利用するなど飲酒運転を避ける手段があったのに、少量の飲酒に気を許した運転を行って事故を起こしてしまう者が数多く存在する、と指摘されています。

▼法律で取り締まることのできない程度の軽い飲酒であっても、交通事故を起こす危険性や習慣性が高いことは、前述のアルコールが人体に及ぼす影響からも、また、飲酒運転の危険性について調査・研究した各種の文献からも明らかです。

▼今後は、少量の飲酒だから運転に影響が小さいなどの誤った知識を払しょくし「飲んだら乗るな 乗るなら飲むな」を励行していきましょう。

悪質違反の罰則強化

免許更新、原則5年に

改正道交法

飲酒(酒酔い)運転、無免許運転、ひき逃げなど悪質、危険な運転行為に対する罰則強化や、運転免許証の有効期間を現行の三年(優良運転者は五年)から初心者や一定以上の違反運転者を除き、原則として五年に拡大するなどを盛り込んだ道交法改正案が、六月十三日、参議院本会議で可決成立しました。この法律は公布の日から起算して一年を超えない範囲内において、政令で定める日から施行されることとなります。法改正の概要は次の通りです。

○運転免許証の更新

・有効期間が延長されます。
運転免許証の有効期間が現行の三年(優良運転者は五年)から、七十歳以上の者・初心者、一定以上の違反経歴者を除き、原則として五年になります。

延長されます(誕生日の一月前)。月前日から誕生日から起算して一月月を経過する日までの間に更新する必要があります。免許証の有効期限も、誕生日から起算して一月月を経過する日となります。住所以外での免許更新が可能となります。優良運転者が、誕生日前であれば住所地以外の都道府県公安委員会を經由して更新申請ができません。

・更新期間及び更新手続き期間が延長されます。更新期間が、現行の誕生日の一月前日から、誕生日の前日二カ月に

・住所以外での免許更新が可能となります。優良運転者は、誕生日前であれば住所地以外の都道府県公安委員会を經由して更新申請ができません。

・普通自動車運転免許の更新が失効(うっかり失効)し、失効してから六月月を超え一年を経過しないものについて再取得する試験は、仮免許の技能と学科が免除されます。

○運転者対策
・運転代行業に従事する運転者は二種免許が必要になります。運転代行業の運転手にも、第二種免許が必要となります(施行は法律の公布から三年以内)。

・第二種免許の試験方法が変更になります。大型二種、普通二種免許の試験は、一部の試験項目を除き、道路で行うこととなります。また、同試験を受けるには、心身検査処置の講習と自動車の運転に関する講習を受けなければなりません。

・障害者などの免許取得の資格条項が廃止されます。精神障害者、知的障害者、てんかん、視覚・聴覚障害者等は免許を取得できないとする「欠

悪質・危険な運転行為に対する罰則強化一覧表

違反行為	現行	改正
救護義務違反(ひき逃げ)	3年以下の懲役又は20万円以下の罰金	5年以下の懲役又は50万円以下の罰金
飲酒(酒酔い)酒酔い下命容認	2年以下の懲役又は10万円以下の罰金	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
飲酒(酒気帯び)酒気帯び下命容認	3カ月以下の懲役又は5万円以下の罰金	1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
過労運転(麻薬等)過労運転下命容認	2年以下の懲役又は10万円以下の罰金	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
過労運転(その他)過労運転下命容認	6カ月以下の懲役又は10万円以下の罰金	1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
無免許運転無免許運転下命容認	6カ月以下の懲役又は10万円以下の罰金	1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
不正手段による免許証取得	1年以下の懲役又は10万円以下の罰金	1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
共同危険行為等	6カ月以下の懲役又は10万円以下の罰金	2年以下の懲役又は50万円以下の罰金

二〇〇一年の暑い夏がすぎ、過ぎやすい秋を迎えようとしています。今年、年明けから交通事故が相次いで発生し、全国における本県の交通事故死者数の増加率や人口十万人当たりの死者数は、常にワースト上位を続けてきました。

その間、六月には県をはじめとする関係機関、交通安全協会など関係団体による懸命の交通事故防止活動が功を奏し一時より沈静化の傾向にありますが、それでも交通事故死者数は昨年と同時期に比較して十二人増と誠に憂慮される状況です。

交通事故の原因などについてはさまざまなこと

「シートベルトは必ずしめよう」を合言葉に

シグナル

が挙げられますが、交通事故死者の改正に伴って着用

法律の改正に伴って着用

結果では、全国平均が八二

調査結果は、平成十一年が

六三・九%、平成十二年が

六四・八%と全国平均から

みると極めて低く二年連続

死亡事故抑制のため

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

また、非着用対象者二十一人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる者は、十一人(救命率五二・四%)もいます。

交通安全協会に入会しませんか

無料相談や見舞金給付 さまざまな特典を用意

あなたも入会し、地域の交通安全活動にご協力ください。
交通安全協会入会費は次の更新まで、千五百円です。

なお、詳しくは山梨県交通安全協会(電話055・237・7827)または各地区交通安全協会窓口へお問い合わせください。

21日から秋の全国交通安全運動

「飲酒運転」 絶滅も

九月二十一日から三十日までの十日間、全国一斉に実施される「秋の全国交通安全運動」は秋の行楽シーズンを迎え、交通量が増加し、交通事故の多発が懸念されることから、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

事故防止へ県民一丸

ベルト着用の徹底図る

県内の交通事故による死者数は、八月三十一日現在六十一人、前年同日比で十六人増加しており、全事故の発生件数は四千八百二十六件、負傷者は六千四百人で過去最悪だった昨年よりさらに増加しており非常に厳しい状況です。毎年九月から、年末にかけて交通事故が増加します。この運動を契機に、県民一人ひとりが交通事故防止の主役となつて一層の注意を払い、悲惨な交通事故を一件でも減少させましょう。

運動の重点項目

- 高齢者の交通事故防止
- チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底
- 飲酒運転の絶滅 (県独自)

います。

特に歩行中の事故が目立ち、秋の深まりとともに日没時間が早まり歩行者が見えにくくなるので、外出する際には明るい服装や反射材を必ず着用しましょう。

また、運転者は夕方は早めにライトを点灯し、高齢運転

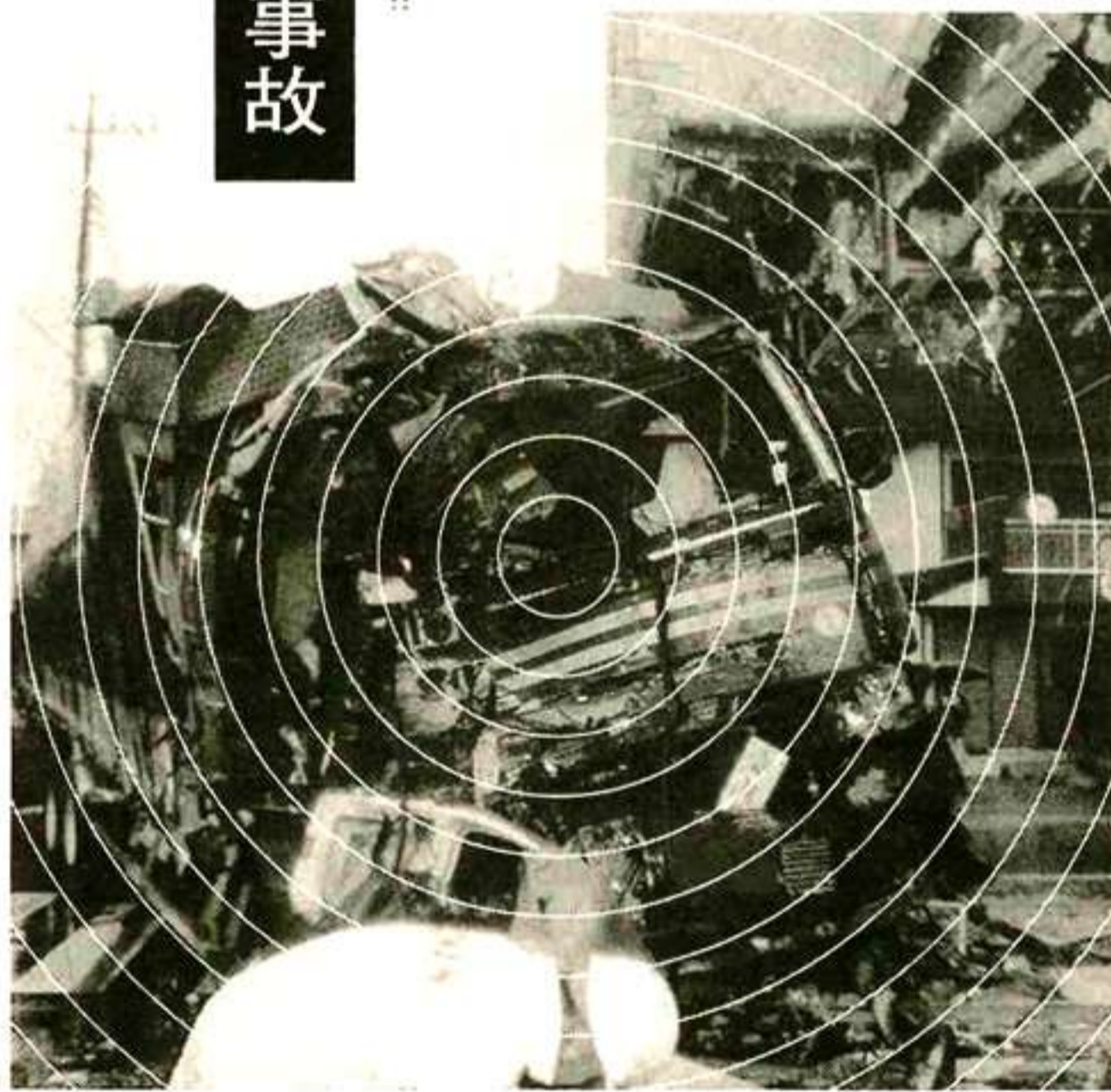
今年上半期の事故

- 死者数49人。昨年より10人増(増加率全国ワースト4)
- 人口10万人当たりの死者数全国ワースト4
- 運転免許保有率全国第7位
- 自動車保有率全国第2位
- 人身事故の発生件数は、過去最悪だった昨を上回る
- 高齢者(65歳以上)の死者数が全死者数の3割を占める

山梨県警がまとめた上半期の交通事故発生状況によると、発生件数は三千四百六十

者標識(もみじマーク)を付けた自動車や高齢歩行者の保護を図り、思いやり運転に努めましょう。高齢運転者は交通安全教育や運転適性診断を積極的に受け、自分の運転適応力を把握し、身体の機能の変化に応じたゆとりある運転を心掛けましょう。

「シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底」については、昨年の民間団体の調査によると県内におけるシートベルトの着用率は今年調査で三〇・八%と全国ワースト3となり県民の交通ルールや交通マナーの悪さが目立っています。



交通死49人に激増

高齢者が3割占める

四件で昨年同期に比べ百三件(三・一%)、死者数は四十九人(二五・六%)、負傷者は四千五百二十七人で百七十四人(四・〇%)増加し、人身事故の発生件数、負傷者数はいずれも過去最悪を記録した昨年を上回るとともに、死者数も激増しています。

交通死亡事故の主な特徴として、状態別では、昨年同

トベルトの着用率は六四・八%と全国平均の八二・五%を大きく下回り二年連続して全国最下位と誠に不名誉な状況です。また、同じくチャイルドシートの着用率は今年調査で三〇・八%と全国ワースト3となり県民の交通ルールや交通マナーの悪さが目立っています。

「飲酒運転の絶滅」については、全交通事故のうち飲酒運転による交通事故の割合は依然高く、昨年は全国ワースト6でした。飲酒運転は運転者自身が違反であることを認識して運転するもので故意犯です。危険性や責任の重大性などについて家族、職場などで話し合いましょう。

夕暮れ時は早めに点灯を

車両点灯時間の目安	
9月	17時00分
10月	16時30分
11月	16時00分
12月	16時00分

早めの点灯は、安全運転のシンボルサイン。山梨県警は、夕暮れ時の交通事故が多発していることから、九月は午後五時、十月は同四時半、十一月、十二月は同四時から車のライトを点灯するように呼びかけられています。

死傷者を伴う悲惨な交通事故が増えている。ルールを守って事故防止に努めたい。交通事故死者を年齢層別にみると、高齢者の死者が全体の三四・七%を占め最も多い。自動車乗車中の死者のうち三十歳代の死者数が七人で、昨年同期に比べ三人(七五・〇%)減少したのが目立っています。

第一当事者の死亡事故のうち高齢者が第一当事者となった事故は七件で昨年同期に比べ五人(二五・〇%)と激増

○交差点・カーブ対策の推進(交差点九十五カ所、カーブ六十一カ所を指定し、道路環境の改善を図る)
○飲酒運転事故防止対策の推進(県で実施している「山梨県飲酒運転絶滅作戦」と連携を図りながら、飲酒運転事故の絶滅を図る)
○重大事故に直結する危険性、悪質性の高い違反に重点指向した取り締まりの強化(悪質・危険性の高い違反及び夜間に重点指向した取り締

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店
株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目32-13
日東ビル4階
TEL055-228-0691

安協から

雁坂路の事故防止図れ

目下部安協会長 天野 経廣



目下部交通安全協会は、峡東地域四市町村に十二支部を置いて構成され、地域に密着した交通安全活動を通じて、住民が安心して暮らせる交通事故のない安全な地域の実現を目指し、警察署をはじめとする関係機関、団体などの連携を取りながら各種安全活動に取り組んでいます。

百八十六人と、件数、傷者ともに前年同期を上回っているほか、死者は年半ばで、年間の抑止目標数に達するに懸念すべき情勢となっているという情勢にあることから、

機に、秩父方面からの県外観光交通量が増加し、同管内全事故の約三割が国道140号で発生しているという情勢にあることから、

ドライバーの目に訴える啓発活動を展開すべく、夜間反射式電柱幕の設置や街頭における広報啓発活動、さらに、新聞折り込みによる

的な交通安全教育を実施するため警察署、各自治体や関係団体と連携する中で、老人クラブなどを中心とした高齢者交通安全推進大会などの開催も行っていきます。今後、各支部、各地区ごとの積極的な安全活動を展開していかねばならないと感じています。

また、同安協婦人部(小林チヨ子部長)は七月二日、大月署会議室で婦人部各支部長ら二十五人が、一件でも交通事故を減らそうという願いを込めて交通安全用マスコット(シートベルトを付けた犬)を約六百個作製しました。

このマスコットは、各交通安全活動で配布する予定です。ミラー約百五十基の点検・清掃を行いました。また、同安協婦人部(小林チヨ子部長)は七月二日、大月署会議室で婦人部各支部長ら二十五人が、一件でも交通事故を減らそうという願いを込めて交通安全用マスコット(シートベルトを付けた犬)を約六百個作製しました。



標語付きにおい袋を上野原署に贈る上野原安協女性部の代表(上)とにおい袋

安全標語付きの おい袋を配布

○上野原

上野原交通安全協会(和田博夫会長)の婦人部(菱山フジエ部長)は、死亡事故抑止緊急対策の一環として、安全

標語付きにおい袋百個を作製し上野原署へ寄贈しました。このおい袋は、緊急対策期間中、いいにおいで心にゆとりを持ち安全運転を心掛けてもらう狙いで、街頭活動などの機会を通じてドライバーに配布し交通安全を呼び掛けました。

交通事故死ゼロ 塩山が500日達成

○塩山

塩山交通安全協会(曾根富夫会長)は、塩山市、勝沼町、大和村内で、交差点やカーブなどの危険個所に道路びょう



横断歩道の渡り方を学ぶ八田保育所の子供ら

部(斎藤秀男支部長)は、年間を通じて積極的に交通安全活動を実施しており、村内での交通事故死ゼロ1000日を達成しました。

小笠原署は、効果的な交通事故防止対策が推進されたとして、斎藤公夫村長に感謝状を授与、その功績をたたえました。斎藤村長は「これからも、この記録が一日でも長く維持されるよう交通安全に心掛ける」と述べました。

また、同村の八田保育所は、園児の交通事故防止に日ごろから心掛け、参加・体験型交

通死亡事故ゼロ八田は1000日

交通安全死亡事故ゼロ 八田は1000日

○小笠原

小笠原交通安全協会八田支

地元企業と合同で ミラーの清掃点検

○大月

大月交通安全協会大月支部(高木未年生支部長)は六月九日、大月署と地元企業のN



交通安全教育を積極的に推進していることなどが評価され、交通安全功労団体として小笠原署、小笠原交通安全協会から表彰されました。

フレイトを配布 暴走族締め出し

○甲府

甲府交通安全協会(秋山登会長)は、交通事故抑止緊急対策に伴うマグネットステッカーと暴走族追放フレイトを作製し関係機関に配布しました。マグネットステッカー(反射式)は、「交通死亡事故抑止緊急対策実施中」と表記し、六月一日から三十日までの一カ月間、管内のタクシー、バス、駐車場などへ掲示しました。

街頭指導所を設け 交通安全呼び掛け

○南部

南部交通安全協会(仲尾初利会長)は、管内の交通事故



街頭指導所を設け安全運転を呼び掛ける南部安協役員

発生件数、死者、傷者が増加していることから、六月十八日から二十三日まで街頭監視活動を実施し、二十三日には街頭指導所を開設しました。

街頭監視活動は、各町の交通関係団体の協力を得て、朝夕主要交差点でシートベルトの着用など監視活動を行い、街頭指導所では運転者・歩行者などに対し、交通安全啓発用品を配布して交通事故防止を呼び掛けました。

事故ゼロ目指し連携強化

地道な地区活動 着々と成果上げる

秋の全国交通安全運動

各地区安協の重点活動項目

甲府	高齢者参加体験交通安全教室・中学生弁論大会・交通安全看板コンクール・街頭指導所の開設・安全運動出発式・高齢運転者安全運転コンクール・文字放映による広報・懸垂幕立看板の設置・登下校時街頭指導
南甲府	安全運動出発式・街頭指導所の開設・チラシの作成、配布・高齢者交通安全講習会・中学生弁論大会の開催・危険箇所点検整備・二輪車街頭指導所の開設・親子三代で学ぶ交通安全フェスティバル
小笠原	シートベルト・チャイルドシート着用の指導・保育所、小、中、高校の交通安全教室・交通安全ボランティアの活動・高齢者交通安全教室・交通安全マスコット作り・反射材直接貼付け活動・カーブミラー点検・街頭指導所の開設
韮崎	1日警察署長の委嘱式・交通安全パレード・ゆとり講習の開催・街頭指導所監視所の開設・シートベルト、チャイルドシート着用指導員の委嘱及び指導・黄色い羽根の配布・道路環境安全点検活動
長坂	黄色い羽根の配布・セーフティドライブ八ヶ岳作戦・交通安全フェスティバル in 武川・交通安全ゲートホール大会・街頭指導所の開設・高齢者ゆとり教室・高齢者宅訪問指導・中学生弁論大会
鵜沢	街頭指導所の開設・高齢者交通安全講習会・チャイルドシート着用講習会・安全運転コンクール・自転車、バイクの安全チェック・中学生弁論大会・交通安全啓発用品の配布
南部	黄色い羽根の配布・街頭指導所の開設・安全運転コンクール・高齢者宅訪問指導・交通安全祈願祭の開催・1支部1交通安全運動・交通安全広報・シルバーチャレンジ100作戦・セーフティドライブ・ファイト210作戦
市川	総合街頭指導所の開設・黄色い羽根の配布・広報車での広報・高齢者夕暮教室・飲酒運転追放レター作戦・中学生弁論大会・標識、危険箇所の点検清掃・早めのライト点灯運動
石和	街頭指導所の開設・黄色い羽根の配布・チャイルドシート着用実践教室・安全運転コンクール・高齢二輪車運転教室・親子交通安全教室・ゆとり講習・高齢者交通安全教室・婦人部高齢者宅訪問・危険箇所調査整備・女性ドライバー教室
日下部	中学生弁論大会・街頭指導所の開設・カーブミラーの点検清掃・高校生交通ボランティア活動・安全運転コンクール・ゆとり講習・「夜間反射材」の直接貼付け運動
塩山	中学生弁論大会・街頭指導所の開設・園児の交通安全鼓笛隊パレード・高齢者ゆとり講習・交通安全ゲートホール大会・チャイルドシート講習会・婦人講習会・巡回広報
都留	高齢者安全運転競技会・高齢者交通安全教室・「ヒヤリハッと地図」の作成・反射材の配布・チャイルドシート着用指導・街頭指導所の開設・危険箇所の点検整備・交通安全パレード・中学生弁論大会・交通安全コンクール・カーブミラーの清掃
富士吉田	街頭指導所の開設・ゆとり講習・小学生セーフティリーダー委嘱式・寿交通安全教室・交通安全ボランティア委嘱式・交通施設器具等点検・安全運転コンクール
大月	早めのライト点灯運動・黄色い羽根の配布・街頭指導所の開設・高齢者宅訪問活動・交通安全施設点検
上野原	黄色い羽根の配布・街頭指導所の開設・安全運転コンクール・チャイルドシート、シートベルト着用推進フェア・ゆとり講習・「ヒヤリハッと地図」の作成・巡回講習



交通安全うちわを明照保育園に贈る富士吉田安協会員(上)と飲酒運転防止ステッカー

飲酒運転絶滅へ
ステッカー配布
○…富士吉田

山喜六会長は、警察署、安全運転管理者協議会、地域交通安全活動推進協議会と連携し、飲酒運転の防止を呼び掛けるステッカーを五千枚作製

また、六月二十一日には、死亡事故緊急対策に伴う街頭指導所を管内交通関係機関・団体の協力で開設しました。指導所では、緊急対策関係資料の配布、標語入りハーブ苗を配布しながら、ドライバーに対して交通事故防止を呼び掛けました。さらに、同協会では、チャイルドシート着用を呼び掛ける標語が入った「うちわ」を三千五百枚作製し、管内の全保育園と幼稚園に配布し、七月三十一日、市立明照保育園で開いた交通安全教室で園児に交付しました。



高齢者スポーツ大会で交通ルールを学ぶお年寄り
—都留市の大輪スポーツ広場

優勝は、盛里A支部、準優勝は、位木生支部でした。最後に優勝チーム代表が「今大会の経験を生かし、交通ルールを守り、事故ゼロを目指します」と、交通安全の誓いを述べた。

安全意識の高揚へ
高齢者が球技大会
○…都留

都留交通安全協会(三枝時彦会長)は六月三十日、都留市の大輪スポーツ広場で安協各支部十一チームが参加して

開会式では、大森勲署長から高齢者事故の多発や事故形態などの説明があり、また、参加した人に対して地域の交通指導者として協力を要請しました。

大会参加者は交通ルールを取り入れた方法に多少戸惑いを見せながらも、和気あいあいの中、真剣に競技に取り組みました。

同安協は、秋の全国交通安全運動の重点であるシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底を呼び掛け、交通安全活動を推進していく予定です。

ベルト着用向上へ 調査と街頭指導

○…市川

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、七月二十一日から八月二十日まで実施された「シートベルト着用徹底甲斐路大作戦」強化月間を前に、交通事故の防止と被害の軽減を図るため広く住民にシート

ベルト着用の必要性を普及し、着用率の向上を目的として、管内各主要交差点でシートベルト着用の調査と街頭指導を実施しました。

六月十七日・六郷町役場前、二十日・富士川大橋東詰め交差点、二十二日・富士見団地入り口、二十五日・黒沢交差点、二十八日・市川公園北交差点、二十九日・ひうが市川店前で、安協役員がシートベルト着用のしゅもじ型標識で着用の徹底を呼び掛ける

述べていました。講習会では、最初に交通課長が、最近の交通情勢、高齢者の交通事故の実態、ゆとり講習の趣旨などの講話をした後、受講者を二班に分け、技能(実地)講習、適性検査(視力検査・動態視力検査)を行い、検査結果について個人ごとに分析指導しました。

参加した高齢運転者は、自分の運転について「気づかぬうちに、反応などが遅くなっている。スピードを控えた運転に心掛けたい」と感想を述べていました。



シートベルト着用の向上を図るため街頭で調査する市川安協
市川大門町内

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
富士吉田交通安全協会経営
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一・二、大型一・二、大特、けん引
自二(合宿施設有)

人命は何にもまして尊重され、大切にされなければなりません。

災害や事故など不慮の事故で命を失う人は、平成十一年で三百九十七人と総死亡者数七千五百八十一人の三・九%を占めています(山梨県人口動態統計から)。こうした不慮の事故はあつてはならないものであり、その減少・絶滅には関係者はもちろん県民総がかりで取り組みねばならないと思ひます。

交通安全運動も人の命を守る取り組みであり、建設業も作業場の事故から人命を守るという共通点があるので安全への取り組みについて紹介し

ます。建設業は自動車通行量の多い道路での改修、舗装工事のほか急傾斜地、高所、地中、

水中など非常に危険な場所での仕事も多く、作業員は常に事故と隣り合わせています。

安全対策は必要欠くべからざることであり、あらゆる角度から検討して災害発生を防ぐ手立てを取っています。

建設業者で組織する建設業災害防止協会山梨県支部(風間隆支部長)があります。建設業協会の各支部はその分会として活動しています。

現場では安全管理体制を確立するとともに、工夫を凝らし効果的な安全活動を行っています。具体的には墜落、転落、建設機器災害、交通災害の絶滅を目標として指差し確認、危険予知、ひと声掛けを実行しています。

不注意が事故につながる恐れがあります。

各支部(建設防分会)では現場の安全管理体制が確実に機能しているか、危険な点がないかなどを見るために、労働基準監督署、地域振興局建設部(旧土木事務所)などの指導、協力を得ながら、秋季、歳末、年度末などにパトロールを実施して事故防止への注意を喚起しています。

また本県独自のユニークな活動として女性社員の現場パトロールがあります。オレン

ジ隊」と命名され、平成十年に誕生しました。オレンジ色の制服に身を固め、女性の立場から建設工事現場の安全衛生パトロールを行い、男性作業員に声を掛け、現場の空気を和らげ事故防止に一役買っています。

山梨県建設業協会

万全の取り組みで現場事故防止を図る



建設現場を安全パトロールする山梨県建設業協会会員

建設現場では、各種の大型建設機械が縦横に活躍しています。それぞれ資格を持ったオペレーターが操作していますが、不安定な場所でも多くの作業員が複雑に動いており、機械の重量も大きくちよっとしたミスが重大な事故を発生させるだけに何よりも安全管理が大事です。

そこで各支部では車両運搬業務者を対象に安全運転講習会を開いています。

また重機によっては用途外使用によって事故を誘発することがあり、この点についても厳重な監視と指導が行われています。

建設業のように無から有へと物を作る産業は資材や土砂の運搬などが業務の大部分を占め、また現代社会の要請でスピードも求められますので大なる機動力を備えていなければなりません。

運転は仕事上欠かせない業務です。仕事全体を占める割合も多くなるので日ごろから交通安全の意識を持っていくことが大切です。

山梨県が実施しているセミナー「ドライバー・チャレンジャー」には、業界企業も積極的に参加しています。こうした催しに参加することにより交通事故防止に寄与することができます。

◆研修課程及び研修料金

研修課程	期間	研修料(消費税込み)(円)	
		二輪車	大型車
一般緊急自動車運転技能者	4日	82,000	
消防・救急緊急自動車運転技能者	4日	82,000	
安全運転実技指導員	5日	97,000	
安全運転管理者	5日	101,500	
貨物自動車運転者	4日	78,500	89,000
旅客自動車運転者(バス)	4日	79,500	100,500
一般・企業運転者	4日	79,500	
同上	3日	51,000	
同上	2日	40,500	38,000
同上	1日	20,500	18,500
青少年運転指導者	4日	81,000	76,500
青少年運転者	2日	20,500	21,000
同上	1日	8,500	8,500

(注) 青少年運転者課程は25歳未満の方などを対象としています。

自動車安全運転センター

した訓練コースで安全運転のための実践的なトレーニングを行います。一般の道路では経験できない運転上の危険な状況を安全に体験しながら、安全運転の基本と応用について徹底的に学べます。一度、体験研修をしてみませんか。

研修所の見学
安全運転センター
中央研修所の施設見学を希望の方は予約制で受け付けています。(無料)

SDカードのメリット

SDカードは安全運転者のしるし!。SDカードは、の向上のための研修を実施しています。実際の道路を再現

体験研修で運転資質アップ

安全運転 中央研 安全運

「SDカードは安全運転者のしるし!。SDカードは、の向上のための研修を実施しています。実際の道路を再現

SDカードは安全運転者のしるし!。SDカードは、の向上のための研修を実施しています。実際の道路を再現

JAF(日本自動車連盟)

ベルト着用向上へ積極的に啓発活動

山梨県交通対策推進 交通指導員研



安全運転の啓発のために開いている講習会(上)とエアバッグ展開装置

日本自動車連盟(JAF)は公益事業活動として、五月のゴールデンウィークの休日にチャイルドシート着用実態全国調査と、九月に朝の通勤時間帯でのシートベルト着用実態全国調査を毎年実施しています。

チャイルドシートは、昨年四月一日から法制化に伴い、

以前より着用意識は高まっていますが、県着用率三〇・八%、全国平均四四・七%(平成十三年五月調査)で、全国ワースト3。シートベルトの着用に至っては、県着用率六四・八%、全国平均八二・五%(同十二年九月調査)で二年連続、全国最下位と非常に低い数字です。

JAFとしても車社会のユーザー団体として、引き続き安全に対する調査を行い、その結果を広くユーザーに公表して啓発活動を行っていきま

すが、その一部として行政・団体・学校・企業などから要請があれば、座学型交通安全講習会「JAFデーターから見た交通安全管理術」や「チ

最後に、身を守るのは自分自身でしかありません。早めのライト点灯、チャイルドシート、シートベルトの着用をお願いいたします。

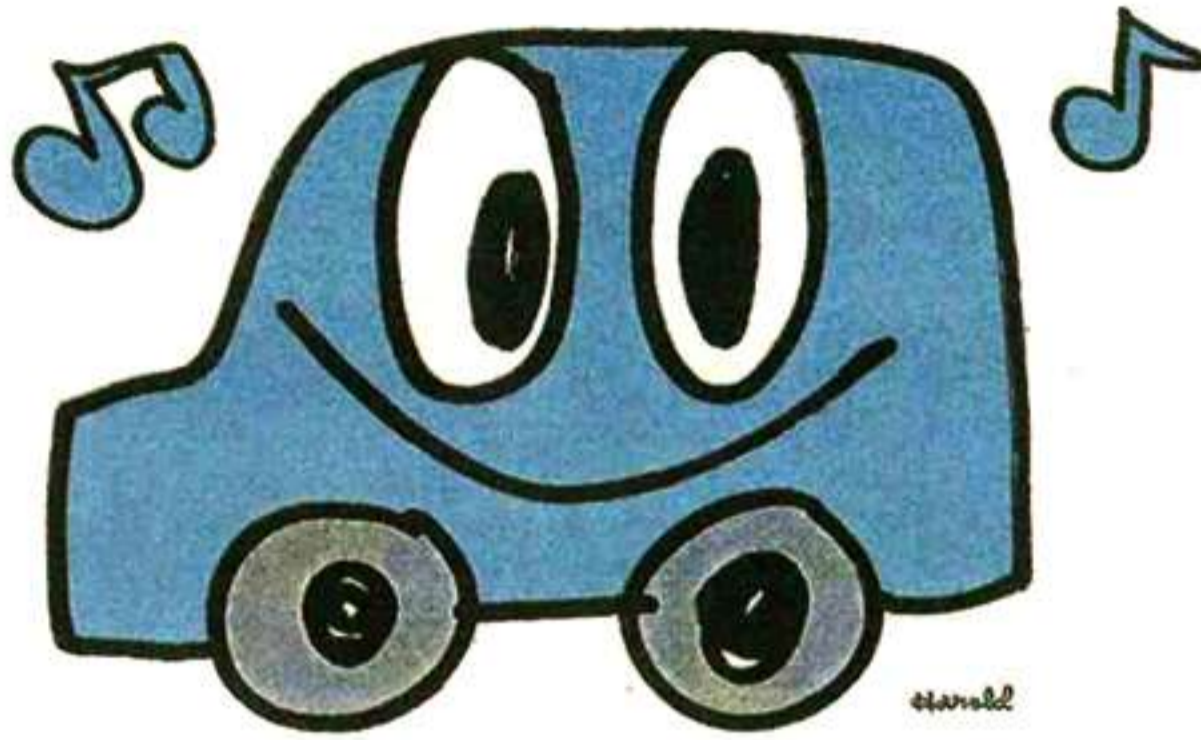
特に「交通安全管理術」では、事故原因における認知・判断・操作の重要性、「チャイルドシート・シートベルト」については、種類、特徴、安全な取り付け位置、エアバッグとの関係(独自製作機材での実演)、取り付け方をはじめ、実際にしっかりと取り付けられているのかのチェックアップ、イベント会場でのシートベルトの衝撃体験車(シートベルトコンピンサー)の体験も行っていきますので、ぜひ活用してください。

山梨県軽自動車協会会員名簿

社名	代表者	電話	ファクス	住所
山梨スバル自動車	影山 智三	055-253-2813	055-253-2872	甲府市富士見1-40-30
山梨ホンダ販売	上杉 健	055-226-3636	055-228-9291	甲府市国母6-3-13
山梨スズキ販売	荻原 公明	055-224-2121	055-224-2128	甲府市飯田3-9-3
山梨ダイハツ販売	牛尾 幸一	055-235-5115	055-233-9806	甲府市横根48
山梨三菱自動車販売	杉山 純一	055-237-2614	055-224-5233	甲府市青葉町3-11
ホンダ自動車山梨	加藤 芳紀	055-228-8007	055-228-8034	甲府市国母6-3-13
山梨マツダ	幸野 源	055-224-5111	055-224-5112	甲府市貢川1-2-15
ヤマハ発動機販売甲信営業所	白岩 俊男	090-8591-0529	0263-39-4661	厚木市戸田244-6
北富士三菱自動車販売	野澤 明	0555-73-1171	0555-72-2080	南都留郡河口湖町船津4964
ホンダスーパー山梨	古屋 文信	055-273-0468	055-273-7474	中巨摩郡玉穂町中橋91-1
カワサキモーターズジャパン静岡営業所	古川 道夫	0543-45-4118	0543-46-9122	清水市楠新田212-1
ホンダ自動車販売	藤本 悦重	0555-24-5000	0555-24-7300	富士吉田市上吉田1166
山和自動車	高村 一朝	0555-62-0066	0555-62-3010	南都留郡山中湖村山中14-1
ホンダショップ山梨	金川 安子	055-284-3345	055-284-4190	中巨摩郡白根町上今諏訪185
ホンダ四輪販売出羽	出羽 尚行	0555-22-2238	0555-22-3777	富士吉田市下吉田2550
南ホンダ	南 幸昌	0553-20-6111	0553-32-3441	塩山市西広門田287
パークホンダ販売	大関 晃	0554-43-4335	0554-43-4334	都留市田原4-1-8
花田モーターズ	花田 明	0554-22-0613	0554-22-1122	大月市猿橋町猿橋186
峡南ホンダ販売	松野 伸哉	055-272-0826	055-272-0192	西八代郡市川大門町93

山梨県軽自動車協会

事故防止が重要課題に



山梨県軽自動車協会のロゴマーク

山梨県軽自動車協会は、左記の会員で構成されており、発足当初は、軽自動車の普及と発展を目的としていました。しかし、現在のように山梨

県の車両数、約六十九万台の三分の一が軽自動車であるという中で、普通車と同じように廃棄車両の問題、フロソカス問題、安全性、排ガス問題、さらに交通事故防止についても真剣に取り組んでいかねばならない重要な問題であると思っております。

また、車庫については、平成十一年一月から、甲府市に使用の本拠の位置がある軽自動車も車庫届が必要となりました。これの一〇〇%達成のため会員各ドライバーに尽力をお願いしています。

これらの問題を解決していくには、県民の皆さんの尽力が必要となりますので、各層のご支援ご協力をお願いします。

山梨県トラック協会

10月8日、小瀬でフェスタ



「トラックの日ミニスポーツ&ゲームフェスタ」でくす玉割りを楽しむ参加者—甲府・小瀬スポーツ公園(昨年)

社団法人山梨県トラック協会は、十月八日の「体育の日」に、甲府市の小瀬スポーツ公園芝生広場で、「2001トラックの日ミニスポーツ&ゲームフェスタ」を開催します。

本来トラックの日の起源は、十と九(とうとく)で「トラック」にかけて、十月九日

として、イベントを実施しています。

イベントの内容は、環境保全対策、交通防災事故防止対策など協会員が日ごろ取り組んでいる各事業を題材に企画しており、〇×クイズ、大声コンテスト、二人三脚、地球クリーン大作戦など趣向を凝らしたゲームがめじろ押し。

また場内には各支部提供の模擬店も多数出店、さらに婦人部会による遊休品などのチャリティーバザーも実施する予定です。一般参加自由、商品を多数準備して皆さまの来場をお待ちしています。

▽日時 平成13年10月8日(祝) 体育の日 午前10時から

▽会場 甲府市小瀬「小瀬スポーツ公園・芝生広場」。一般参加自由、入場無料

山梨県バス協会

9月20日は

「バスの日」

無料招待する予定です。

○「バスの日」について

明治三十六年九月二十日、京都の堀川中立売(祇園)で乗合バスが運行を開始、これにちなんで九月二十日を「バスの日」と定め、毎年全国のバス協会がPR活動を展開して

山梨県では大正六年六月、山梨自動車運輸が甲府・小笠原・倉庫間で初めて乗合バスを運行しました。その後、バスは一般大衆の足として成長しましたが、昭和四十年代後半からマイカーが急増、現在では非常に厳しい経営を強いられています。

山梨県タクシー協会

身障者向けのサービス充実

山梨県タクシー協会は八月三日、甲府駅をメイン会場に県内の主要駅、タクシー乗り場など十五カ所を清掃後、キヤンペーン用のうちわ、カッパンなどを配り、タクシーの利用を訴えるとともに、交通遺児への募金を山梨県みど

大正元年八月五日は、東京有楽町に初めてタクシーが運行した日です。この日を全国統一の「タクシーの日」に制定し、平成元年から八月五日を中心に全国の主要駅などでお客さまに感謝の心を込めてイベントを開いています。

り奨学会へ贈りました。

県内のタクシー誕生は大正八年八月、南都留郡福地村(現富士吉田市)が最初でした。その間、甲府市では戦災を受けタクシーのほとんどが焼失、県内のタクシーは五十三両まで激減しましたが、県民の皆さまの温かい支援で、現在では協会加盟事業者九十三社、千九百七十七両に成長しました。

私も業界では皆さまの厚情に報いるため、交通遺児、災害による被災者救援の募金活動を継続実施しています。また、身障者の皆さまには手帳に利用してもらおうと、手帳の提示により運賃を割引(事業者負担)するなど、お客さまのニーズにおこたえしています。